

地域づくりインターンシップin伊勢市 活動レポート

地域づくりや地域活性化に興味関心のある若者3名が伊勢市の「沼木まちづくり協議会」でインターンシップを行い同協議会が主催する3つの活動の運営補助及び若者の地域活動への参加等について協議会の方と意見交換を行いました。

沼木の窓運営・子ども塾視察

カフェの受付やコーヒーの抽出のお手伝いなど運営に関わった。受付でカフェの利用者に利用頻度や目的のアンケートを取って情報収集し、市民の思いを調査した。

子ども塾では、塾長や講師の学生に取材を行い、現状や今後の課題について意見を聞いた。



草木染め体験

沼木で採れた梅の木の子を使い、煮出して色を抽出し、白い布をピンクやグレーに染めた。体験を通して、情報発信に関する課題や草木染めの楽しさ、その魅力について知った。草木染めが始まった経緯や講師の方の思いを聞くこともできた。



若者と地域の意見交換会で得られた気づき

①地域としての役割

〈参加者〉活動に参加する前は外部の人間の取り込みが課題であると考えていたが、地域の方の「子どもたちが帰ってくる場所にしたい」「地域の方の居場所にしたい」という思いから、地域内で世代の引継ぎも重要なテーマであると気づいた。

②地域として今後必要なこと

〈参加者〉チラシ作成方法の見直しや二次元バーコードの追加など新しい試みが必要であると認識した。地域の若者に積極的な参加を求めるための方法や、協議会自体の横のつながりを強化することが今後重要であると考えた。

〈協議会〉地域の若者に対し「何でも良いので何かを企画してほしい」と求めていたが、もっと具体的な仕事を任せ、徐々に経験を積んでもらうことが必要であると気づいた。お金だけではなく楽しさや、やりがいなどの経験等のプラス面があれば、継続して関わってくれるのではないかとということを知ることができた。

参加した若者の感想

■インターン生として客観的な考えを持って活動に臨むことが出来た。地域には様々な人がいるため、多角的な視点を持つことの重要性を感じた。持続可能な地域づくりについて考えるきっかけとなった。(三重大学2年)

■社会人として参加させていただき、地域の方と共に課題の解決案を考え意見交換ができたことがよい経験となった。今後も沼木地区を第二の故郷と思い帰ってきたいと思う。(社会人)

■協議会の運営やまちづくりの取組の様子について知り、地域コミュニティの重要性を学んだ。自分たちのような若い年代の人たちが主体となったまちづくりを進めていくことの重要性について強く認識した。(三重大学3年)

